

今週の News

1. ビジョン・ミッション案のパブリック・コメント
2. 2022/23 年度年度活動体制 (案)
3. 「これからのまちづくり研究会」の設立
4. 事務局からのお知らせ

■ビジョン・ミッション案のパブリックコメント

★「JSURP ビジョン・ミッション」とは

JSURP では、私たちの活動の社会的な意義と到達目標を明確に提示する「JSURP のビジョン・ミッション」を定め、会員相互でこれを共有するとともに、広く社会にアピールしていくこととしました。

この JSURP のビジョン・ミッションについては、昨年度「ビジョン・ミッション検討部会」を設け6回の部会検討を経て4月理事会において承認をされました。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc4c1x7UJRrsrGs-neQjqfauwRMEHNRfhjgAWiViSJ90xtwhg/viewform>

★パブリック・コメントの実施

「JSURP ビジョン・ミッション」案について会員の方々のご意見等を募集します。お寄せいただいたご意見とそれらに対する対応について後日、HP でお知らせします (氏名等は公表しません、また個々の御意見への直接回答はいたしません)。

- ◇ パブリック・コメントの期間
5月3日(火)～13日(金)

★今後の予定

- ◇ 意見の集約、対応協議
- ◇ 理事会で協議、承認
- ◇ 総会で公表



- ◇ 右記の QR コード又は、下記アドレスから (PDF の場合はアドレスをコピーの上) アクセスして下さい。

<JSURPのミッション>

まちづくりの力で 社会課題を解決する

- ・まちづくりとは、多様な主体が連携して、ある地域で継続的な活動(場づくり、関係づくり)を展開することです。
- ・まちづくりを行うことで、創造的に地域の課題を「解決」できるようになります。それがまちづくりの力です。
- ・JSURPは、まちづくりのプロセスを提案し、このような地域の活動を後押しをしていきます(エンパワメント)。
- ・そして、各地域の実践のノウハウを共有することで、課題解決の知恵を社会に行き渡るよう普及していきます。

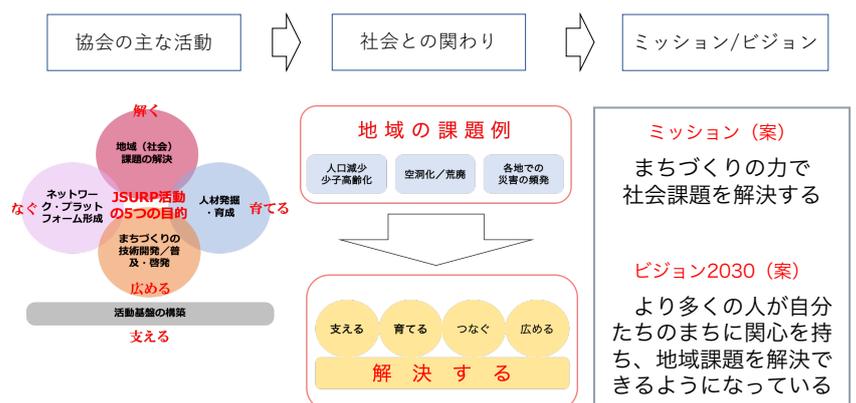
<ビジョン2030/達成目標とする社会像>

より多くの人々が自分たちのまちに関心を持ち、 地域課題を解決できるようになっている

<想定する社会像>

- ・人口が減り、高齢化しても生涯楽しく暮らせる、生き生きとしたコミュニティになっている。
- ・まちが持つ個性を際立たせ、より愛着のもてる地域となっている、まちづくり活動が日常的な活動になっている。
- ・まちが社会活動・経済活動のリアルな場でありつづけ、適切な投資を生む場所となっている。
- ・クリエイティブな活動やビジネスが生まれ続け、まちに活気をもたらしている。
- ・より開かれた社会、ボーダレスな社会となっている(空間的、及び社会構造的主体関係など)。

ビジョン・ミッションの検討は、右図に示すように、まず協会の主要な活動とその目的を、「支える」、「育てる」、「つなぐ」、「広める」とそれらを集約して地域の課題を「解決する」に集約しました。ここから、JSURP のミッション「まちづくりの力で社会課題を解決する」を導き出し、このミッションのもとで描く2030年のビジョンを「より多くの人々が自分たちのまちに関心を持ち、地域課題を解決できるようになっている」としました。



■2022/23 年度年度活動体制（案）

★JSURP の事業目的と活動体制の再編

JSURP のビジョン・ミッションを検討する過程で、JSURP の近年の主要な活動とその目的を整理しました。その結果、①地域課題の解決、②人材発掘・育成、③まちづくりの技術開発／普及・啓発、④ネットワーク・プラットフォーム形成、⑤活動基盤の構築、の5つに集約しました。

★22/23 年度の事業体制（案）

この5つに集約された事業目的が効率的に達成できるよう、従来の活動体制の見直し、下記の7つの部会に再編することとします。

22-23年度体制試案	
部会名	活動・事業名
まちづくり支援部会	出前講座/草の根支援
	災害復興支援
	都市計画家協会賞
フォーラム部会	全国まちづくり会議
	セッション企画運営
	国際交流
プランナー育成部会	まちづくりカレッジ
	若手プランナー育成
	研究会活動
地域活動部会	支部連携
	各支部活動
企業連携部会	企業連携活動
	シティラボ連携
広報交流部会	情報戦略/ブランディング
	情報発信：HP、ウェブ
	情報発信：planners
	会員交流（DX、懇話会）
経営部会	協会中期計画
	寄付戦略
	受託拡大戦略
	JANPIA等
	4団体連携

■「これからのまちづくり研究会」の設立

新しい研究会として「これからのまちづくり研究会」の設立が第199回理事会で承認されました。

1. 主旨

複雑化する課題に対して、地方公共団体における都市計画・まちづくりの現場ではこれまで培ったノウハウだけでは対応できない現実に直面し、閉塞感が高まっています。こうした閉塞感を打開し、これからの切り開くために、新たな考え方が必要とされているとも言えます。

このため、JSURP 内に新たな研究会を立上げ、まちづくりに関わる地方公共団体等をはじめとした多様な主体に属する現役世代同士の議論の場を設け、そこでの議論を通じて、これまでの制度にとらわれない、これからのまちづくりについて考えていきたいと考えています。

2. 設立発起人

中川智史、内山征、小林真幸、高鍋剛、渡会清治

3. 構成メンバー案

民間プランナー及び国・地方公共団体の有志

■事務局からのお知らせ

★JSURP 総会の開催について

●第21回総会・シンポジウム・交流会の開催予定	
開催日時：6月25日（土）	
通常総会	13時～15時
シンポジウム	15時15分～16時45分
—JSURP 新旧会長の鼎談—	
交流会	17時～18時45分
開催場所：axle 御茶ノ水 2F イベントスペース	

日本都市計画家協会の総会（2022年度第21回通常総会）は6月25日（土）午後1時より、axle 御茶の水ビル内会議室において開催します。同時にオンライン配信を行うハイブリッド方式によって開催します。

総会閉会后、15時30分より同所においてシンポジウムと会員懇親会を開催します。今年の総会では、6期12年会長を務めた小林英嗣会長が退任し4代目となる新会長が就任する予定です。総会後のシンポジウムでは新旧の二人の会長による鼎談を予定しています。

この2年間、コロナ禍で会員の皆さんが集まり、交流することが困難な状況が続いていましたが、今年は3年ぶりのリアル開催です。コロナ感染対策を十分行いつつ、久しぶりの会員交流をお楽しみ下さい。

★理事の改選について

今期は理事及び会長等の役員の改選期にあたります。理事の任期は1期2年（再任を妨げません）、正会員であることが要件です。正会員の皆さん、今後のJSURPの活動をより魅力的でアグレッシブなものとするため、理事への立候補を検討して下さい。

理事改選の日程（予定）

立候補受付：5月6日（金）～24日（火）

※立候補者数が定款13条に定める範囲内であれば5月26日に予定している理事会において、総会に諮る議案として確定を予定してします。

★会員制度改革の検討について

JSURP の会員制度に関して昨年度その改革の方向性に関する検討を行ってきました。一つは個人正会員・賛助会員制度の改革、一つは団体賛助会員制度の拡充、一つは終身会員・名誉会員制度の明確化です。

個人正会員・賛助会員制度に関しては、正会員の会費のあり方が正会員数の漸減推移、特に新規正会員加入の障害の要因の一つとの指摘がされてきました。賛助会員（個人）についてはそのメリットが明確でないことが指摘されてきました。理事会ではこうした課題の重要性に関する認識を共有し、早期に改善策を合意できるよう継続して検討することとなりました。

団体賛助会員制度についてはNPO枠を設けることに、終身会員・名誉会員制度については名称を「終身会員」に統一し、一定の要件を満たす場合は現役会員の方であっても終身会員（会費なし）として遇する方針が提示されました。

■5月の予定

- ①5月17日 協会会計監査
- ②5月24日 女性とまちづくり研究会
- ③5月26日 第200回理事会